

令和6年度

学 校 要 覧

開校131周年



厚別 信濃小

校 歌

校 歌

○校歌は、昭和33年に、歌詞を坂本亮先生に、曲を渡部日出雄先生に作っていただきました。

- ・第1節は、空や山や林の美しい自然にかこまれたよい学校で、みんながなかよく学ぼう。
- ・第2節は、祖先の人たちが、つくりのこしてくれた豊かな田畑と、この学校で、みんな明るく元気に育とう。
- ・第3節は、広い世界につづく平和な道を、心に未来の希望をいだいて、みんな力をあわせて進もう。という意味です。

一、目をあげて仰ごう 青い大空を
雲よぶ遠い山なみを
めぐるしげみに 小鳥がないて
肩をよせ合う やさしい子たち

二、声あわせ歌おう 深いよるこびを
地平にかかる虹橋を
みのる田畑の 風さわやかに
きょうも明るく じょうぶな子たち

三、手を組んで進もう みんなどこまでも
世界につづくこの道を
えがく未来の 夢かがやいて
のぞみあふれる 元氣な子たち

厚別 信濃小学校

厚別 信濃小学校

作詞 坂本 亮
作曲 渡部 日出雄



教 育 目 標

- 考える子 (知)…よく考え、進んで学ぶ子の育成
力を合わせる子(情)…友達と仲良くし、力を合わせる子の育成
やりぬく子 (意)…何ごととも一生懸命やりとげるとの育成
じょうぶな子 (体)…心も体も健やかな子の育成

学級編制

令和6 (2024)年 10月1日現在

学年	学級数	児童数
1 年	2	58名
2 年	3	73名
3 年	2	67名
4 年	3	72名
5 年	3	77名
6 年	2	74名
いずみ学級	2	20名
合 計	17	441名

校 章



○昭和9年の木造校舎改築の際、屋内運動場の正面にかざるものとして工事監督の鷲田弥太郎さんが形を考え、先生方と検討し、後に制定されました。

○この校章には、「北国に生きる信濃小学校の子どもは、カシワの木のように、剛く健やかに、身体を鍛えてしっかり勉強に励もう」という願いがこめられています。中央には、カシワの木の花と、信濃の「信」が組み合わされてデザインされ、後にその周りを5つのペン先で囲み北極星を表しました。また、中央の「信」を囲んだのは「円滑な人格形成」を目標にした校訓を表現したものです。

校 木



信濃小学校の藤は、大行寺の住職であった上野俊信師が卒業記念に植えた藤が始まりです。校木制定の時期は不詳です。

父母と先生の会 (PTA)

テーマ 子どもの健全な成長を願い、優しさとふれあいを広げるPTA活動を目指そう

- 活動方針
- ・一人一人の参加を大切に活動
 - ・子どもとともに、ゆたかにあゆむ活動
 - ・学校・父母・地域のふれあいを深める活動

信濃おやじの会(昭和61年設立)

- ◆父親が参加する「親父の会」の元祖
- ◆子どもたちの笑顔のために～できるひとができるときにできることを～がモットー
- 令和5年度札幌市民憲章実践者表彰受賞。同年度ほっかいどう未来輝く子育て大賞を受賞。



〒004-0054 札幌市厚別区厚別中央4条3丁目6-1

TEL 011-891-2124 / FAX 011-891-0349

<https://www.shinano-e.sapporo-c.ed.jp/>

札幌市立信濃小学校

校長 佐々木 俊明

「あなたは、かけがえのない宝なのだよ。」



「しろがねもくがねも玉も何せむに

まされる宝子にしかめやも」

この山上憶良の歌碑は、この楠木正成(大楠公:だいなんこう)の像があった台座に、新たに載せられたものです。裏面には、次のように書かれています。「楠公の銅像に代え 昭和33年11月建之 鷺田弥太郎」太平洋戦争が終結し、13年が経ったこの年、ようやく、わが子を失った悲しみを、またわが子への消えることのない深い愛情を思いのままに言える時が来ました。また、この戦争に30名を超える同窓生が命を落としました。その遺族の方々の尽きせぬ愛情や無念の思いを、この碑に託しているのです。二度と大切なわが子を離すものかという静かで力強い愛情が伝わります。台座にはかつて刻んであった文字が削られています。この削り落とした部分に、悲しさと、悔しさをはじめとするたくさんの、お子さんを失った親御さんの複雑な思いが見て取れます。戦争ほど悲惨なものはありません。いまだに起こり続ける戦争。決して、この大切なお子さんたちの命を犠牲にしてはならないと、強く訴えかけているように思うのです。第3代と第5代PTA会長や白石村村長等を務められた鷺田弥(彌)太郎氏は、「子どもたちこそが一番の宝なんだ、親の宝であり、地域の宝であり、未来の宝なのだ。」との思いを歌碑として表現されています。

頌徳碑



「挑戦しよう。みんなのためにがんばろう。」

「頌徳碑(しょうとくひ)【河西由造氏の偉業功績をたたえる碑】」

河西由造氏は、弘化2年7月、信州長野の上諏訪に生まれました。若くして東京の都に出たのですが、深く、時代の流れに思いを巡らせ、奮然(ふんぜん)、北海道開拓の勇壮な思いを抱き、明治16年4月、39歳の時に、村の仲間数名と共に、この地に入り開拓にかりました。鬱蒼(うつそう)とした原生林に入り、進んで自ら開墾を進め辛酸(しんさん)をなめました。その後、各地から、熱心に人々を呼びよせ、遂に一つの大きな集落となりました。これを信州開墾地と名づけました。今の厚別信濃小学校の辺りです。氏への人々の信頼は厚く、村の仕事をたくさん任されました。また、信濃小学校や信濃神社の設立、厚別駅の設置等に、自分の土地やお金を惜しまず差し出しました。政府等から受けた表彰は数え切れません。明治44年7月、病気のため67歳で亡くなりました。村を挙げ盛大に葬儀がとり行われました。氏は、慎ましく、まじめで、細かに配慮し、よく働き、節約に努めました。また仲間を大切に、困っている人には誰にでも、親切に手助けしました。厚別の人々の互いに助け合う美しい心が今も受け継がれているのは、氏の人柄や熱心さに感化され、たくさんの立派な人が育ってきたためにほかなりません。立派な心や行いの力がここまで及ぶとは、なんという偉大な事でしょう。ここに、有志が集い相談し、碑を建て、氏の素晴らしい人柄や行いを刻み、後世の人々に伝えたいと思うのです。

「ここがわたしの故郷、母校なのです。
共に学んだわたしたちの母校なのです。」

ふ留(る)さと能(の)
母校(ぼこう)爾(に)植(う)え志(し)
寸(す)毛(も)もの木
花(は)な(の)盛(さ)か(里(り)か
と茂(も)能(の)恋(こい)し支(き)
八重



「すももの木」の歌碑 母校への思い 丸山八重さん

この碑は、「信濃小学校を母校とする人たちすべて」の、母校への尽きせぬ愛情や郷愁の「思いを代表する歌碑」です。大正15年の3月に学校を卒業した丸山八重さんは、卒業したあとも、ずっと、卒業の時に植えたすももの木を見守ってきました。大人になって、近くを通りかかるときには、車の中でさえも頭を下げて通ったと、お手紙に書かれています。心のふるさと、母校、信濃小学校への清らかで純粋な思いが、この碑に込められています。卒業後52年の歳月を経て、老木となったすももの木。八重さんは歌集を出版し終えた翌年に学校を訪れました。若くて小さかった苗木が、大樹となり、生い茂る葉や咲き誇るすももの花、また、幹の古い傷やこぶ等を見て、自分の人生と重ね合わせ、涙がこみ上げました。そして、共に学んだ、懐かしい友達は元気だろうか、また会いたいと、友達への懐かし恋しい気持ちにかられました。そのような思いを、八重さんは歌にしたのです。この気持ちを碑として残したいという気持ちが同窓生、PTAに伝わり、学校にも大賛成で受け入れられ、同窓生有志らによる熱心な募金活動と、学校の協力を得て、この碑が制作されました。

「すももの木」の歌碑に刻まれた揮毫(きこう)や文字を通して

この美しい書は当時の第18代村雲範英校長先生によるものです。丸山八重さんの歌を石に刻むに当たり、変体仮名を織り込むことで、歌に一層の深みと味わいを与えているのです。この碑は、歌に込められた美しい思いだけでなく、日本語のもつ古き良き伝統をさり気なく後世に伝えているのです。

(変体仮名は、昔ひらがなとして使われていた文字ですが、今のひらがなとはちがう字を元にした文字です。「の」という字は、もともと「乃」からできていますが、他に「能」という字も「の」と読めるので、その「能」をくずした字が使われています。「に」は、「仁」からできていますが、他にも「尔」や「爾」など「に」と読める漢字が使われることがあり、それぞれくずした字で書かれます。「る」「も」はもともと「留」「毛」という漢字からできていますが、漢字のくずしかたを変えて書かれているものもあります。村雲校長先生は、このような豊かな表現をあえて使ってくださったのです。)



「みなさんを地域の方々は応援しているよ。」



「二宮金次郎の像・報徳の碑」百周年での再建

一生懸命勉強をお手伝いがんばる子に育ってほしいという願いを込め、地域の有志の方が昭和15年に建ててくださいました。その後の戦争で銅像を供出したので、コンクリートの像になっていましたが、100周年を記念して、再び有志の方で再建していただきました。



「みなさんの学校を、学びを、支えているよ。
地域の方々は温かく力強く見守っているよ。」

「開校 30 周年の寄付の舌代」地域の方々の思い

舌代(ごあいさつ) 明治維新以後、我が北海道には多くの本州などからの人々が入り込み、この地域へも多くの人が住む様になりました。当時は、学校がないころで、「日進月歩の世にあって学問をしなくてはならない」という人々の思いによって、ついに41坪(教室2室程度)の小さな学校ができました。それは今から30年前の明治26年でした。それがだんだん大きくなり、今では総建坪数300坪(教室15室程度)生徒が約350人という様な盛大な学校となりました。とてもめでたい事です。そこでこの30年目を記念する式をあげたいものと思い、有志に相談したところ、皆が快く賛成してくれたので、きたる7月上旬に挙行する事に決定しました。また、皆様より寄付をおねがいし、それによって学校の教具を買うという事に決定しました。そもそも教育というものは私共が生活して行く上においても、国家の発展という事においても、一日もゆるがせにできないことです。そしてその教育というものは、先生と生徒がいれば、それだけでできるものではありません。種々の教材教具があって初めて、よりよく行われるものなのです。ですから、どうぞ皆様のお子様やお孫様のために、皆様の国家のためにも、ひいては皆様ご自身のためにも、できるだけのご寄付をいただきたく思います。多くの児童の利益となるように、また、皆様のご協力につきましても、今後末永く記念したいと思います。(大正11年)

郷土資料室「考古館」

開校100周年にあたる1993年に信濃郷土資料室として開設された、厚別信濃の地域にまつわる歴史的品々の展示室です。古い写真やアルバム、古い文書、昔の通知表や卒業証書といった書類。開拓時ののこぎりをはじめ、厚別駅にまつわるもの、懐かしい農機具など、地域に根差した本校ならではの、貴重な資料が収蔵展示されています。



本校のあゆみ

明治	21年	10名程度で私塾ができる。
	26年	信濃簡易教育所設置認可（塾生引き継ぐ） 校舎新築（50.5坪）簡易科3年 1学級編成
	29年	信濃尋常小学校となる 4年制 2学級編成
	31年	河西由造氏が校地敷地を寄付された。（4反3畝）
	32年	屋内体操場増築（30坪）
	35年	河西由造氏が学校基本財産として畑5町6反6畝を寄付された。
	36年	信濃教育奨励組合が設立された。
	39年	学校園を設けて、樹木を植えた。
	40年	第1回運動会開催
	41年	義務教育が6年制となり、尋常科5年生を設けた。
大正	42年	尋常科6年生までできた。3学級編成 1教室と廊下を増築。
	44年	行啓記念桑園ができた。（畑地2畝）
	2年	高等科（修業年限2年）が併置され信濃尋常高等小学校となる。4学級編成 2教室と廊下を増築。
	7年	スペインかぜが流行して休校となった。
	8年	校舎改築始まる。5学級編成 信濃神社境内や安楽寺、智徳寺、大行寺にて授業 身体検査の実施始まる。新校舎完成（190坪）
	9年	1教室を増築した。6学級編成
	10年	開校30周年記念式
	11年	信濃小学校保護者会設立。裁縫室と廊下増築。
	14年	厚別青年訓練所が併置された。7学級編成
	15年	アメリカから親善人形使節が送られてきた。
昭和	2年	8学級編成
	3年	4教室を使って12月まで2部授業をした。
	8年	新校舎完成（631坪） 2部授業 校章決定
	9年	石狩管内綴方研究会の当番校として開催
	14年	二宮尊徳像・大楠公像有志から寄贈。9学級編成
	15年	信濃国民学校と改称。尋常科は初等科となる。
	16年	開校50周年記念式 10学級編成
	17年	2教室を増築。12学級編成
	18年	13学級編成
	21年	六三制となり白石村立信濃小学校となる。高等科は信濃中学校となる。
	22年	12学級編成 学校給食調理室3坪増築。
	24年	札幌市に併合し札幌市立信濃小学校となる。
	25年	開校60周年記念式典を行う。
	28年	

	33年	信濃小学校校歌ができた。完全給食開始
	38年	開校70周年記念式典を行う。信濃小学校校旗完成。
	39年	NHK全国学校音楽コンクール器楽北海道1位
	40年	木造モルタル校舎工事開始～（41年全6教室完成）
	42年	鉄筋コンクリート3階建校舎工事開始
	43年	下野幌小学校開校に伴い327名移籍。
	45年	33学級編成 鉄筋体育館完成。
	47年	鉄筋3階校舎完成（五期工事）
	48年	開校80周年記念式典・研究会 木造2階建校舎解体 共栄小開校48名・北都小開校7名移籍
	51年	35学級編成
平成	52年	ひばりが丘小開校473名移籍
	53年	丸山八重氏歌碑除幕式 22学級編成
	58年	90周年記念式典・研究会 31学級
	60年	厚別西小開校658名移籍
	61年	プール完成 おんこ100本植樹 信濃小親父の会設立
	2年	教育実践発表会開催
	5年	校舎の大規模改修終了 石碑「立志精励」完成、除幕式開催 開校100周年記念式典開催 教育実践発表会開催 「信濃小学校百周年記念誌」発行
	6年	石彫「DONGURI」完成 資料館「考古館」完成
	7年	桜木25本植樹
	10年	情報教育設備整備（パソコン）
	15年	開校110周年記念式典・祝う会開催
	17年	仮設プレハブ校舎へ引っ越し
	18年	厚別中央公園で運動会開催
	19年	新校舎落成記念式典開催
	24年	「一日学校公開日」実施
	25年	教育実践発表会開催 開校120周年記念式典・祝う会開催
	27年	藤棚を改修。
	28年	厚別区フラワーガーデニングコンテスト2016 （学校部門） 優秀賞受賞
	29年	札幌市児童生徒読書大会 優秀校 受賞
	30年	教育実践発表会開催
令和	3年	一人一台タブレット端末整備
	5年	「学ぶ力」の育成推進校指定
	5年	開校130周年記念全校集会
	6年	通級指導教室（ことば・まなび）の開設